

**平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」
学生支援推進プログラム及び就職支援推進プログラム
【自己点検報告書】**

1. 連絡先等

プログラム区分	○学生支援推進プログラム ・ 就職支援推進プログラム	いずれかに「○」を付してください。
大学・短期大学・高等専門学校名	高田短期大学	
所在地	〒514-0125 三重県津市大里窪田町字下沢2865番地の1	
設置者名	学校法人 高田学苑	
学長等の氏名	栗原廣海	

取組期間	平成21年度 ～ 23年度 (3年間)	
取組名称 〔全角30字以内〕	キャリアカレッジを用いた生涯就職支援システムの構築	

申請区分	単独	※ 単独・共同 のうちいずれかを記入してください
共同申請の場合の共同先の大学等名		

(学生支援推進 GP 実行委員会 委員名)

取組年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
委員長	伊藤茂一	伊藤茂一	伊藤茂一
副委員長	鷺尾 敦	鷺尾 敦	鷺尾 敦
委員	高木直人	高木直人	高木直人
	杉浦礼子	杉浦礼子	杉浦礼子
	佐藤 完	佐藤 完	佐藤 完
	小田義隆	小田義隆	上村 晶
	河北浩峰	小池はるか	北川剛司
	北川裕之	河北浩峰	澤井光次
	藤善真裕	金丸博文	金丸博文
	高村幸生	北川裕之	北川裕之
	藤善真裕	藤善真裕	
	高村幸生	高村幸生	

(様式2)

平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」 学生支援推進プログラム及び就職支援推進プログラム 【自己点検報告書】

2. 自己点検評価の内容

① プログラムの目的及び内容

学生の学習状況や成果、進路指導歴など学生に関するキャリアを一元管理する「キャリアカルテシステム」を開発し、学士力の向上と総合的な就職支援を図る。このシステムで、全教職員が一貫性のある指導が可能となり、組織的に教育力の向上にも寄与する。また、卒業後も活用でき、生涯を通じたキャリア支援を実現することを目的とする。システムを構築するために、GPA導入や学士力の測定や学習の軌跡を可視化する。また、卒業後3年間、満足度や就業状況などを把握するための追跡調査を実施する。

② 到達目標

学士力向上に関しては、キャリアカルテシステムに掲載するGPA、資格取得状況などの学習成果を数値化した評価データが一定以上になることを達成目標とする。就職支援に関しては、就職率95%以上のほか、就職満足度調査による満足度、卒業後3年間の職場定着率が一定水準以上になることを達成目標とする。

③ プログラムの実施内容

- ①キャリアカルテシステムにおいて、就職情報ポータルサイト等の開発を進め、GPA、学習成果、自己分析、進路指導情報、インターンシップ歴、就職活動歴、教員による指導情報等々を掲載し、教職員が一貫した就職支援を進めた。
- ②卒業後3年間の追跡調査を行い、採用先満足度や卒業生自身の能力自己評価を把握し、学生の就職支援に活用できるよう進めた。
- ③学生就職先に対する期待する卒業生像調査を行い、採用先の求める人物像（行動特性やスキル）や採用した本学卒業生の満足度などを把握し、今後の教育活動や各学科のキャリア支援のあり方等の改善に努めた。この②、③の調査結果を「就職先および学生の意識調査結果報告」冊子にまとめた。
- ④GPAの導入により、学生の学士力の測定や学習の軌跡を可視化し、教員指導の充実と学生らを省察し、学習意欲を高め、学士力の向上に繋げるよう進めた。
- ⑤学内研究成果学習会を実施し、研究の成果について、教職員に周知を行った。
- ⑥学外中間報告会を開催し、本研究の進捗度や成果等を公表し、他大学等の実践活動との比較・検討や採用先からの評価をいただき、今後の取組に繋げた。
- ⑦システムについて初年度は仕様、設計、機能等の検討とテスト運用を実施した。本格実施に向けて先進校、外部評価委員、教職員から意見聴取で改善に努めた。
- ⑧保護者懇談会では、「就職先および学生意識調査結果報告」冊子を配布し、調査結果の報告と本学の取組みを説明するとともにキャリア支援状況を報告した。

④ プログラムの成果

1. 当該プログラムの周知方法等

学内では、学内の学生支援推進 GP 実行委員会での決定内容を、定例的に開催される教授会（全教員＋課長以上職員）で報告し、キャリアカルテシステムに対する意見の聴取を行い、よりよいシステムづくりを目指した。アンケート調査内容については、各学科協議会で内容を検討し、日々の教育活動に活かし、全教員が当事者意識を高められるようにした。

なお、毎年度末には、教職員研修会 FD 研修第二部で学生支援推進 GP 実行委員会の報告会として教職員に周知し、意見交換を実施した。

さらには、外部への報告会は、中間報告会として平成 22 年 3 月 16 日（火）13 時～実施し、平成 23 年 1 月 25 日（火）には独立行政法人日本学生支援機構主催の「平成 22 年度大学教育改革プログラム合同フォーラム」における分科会「総合的な学生支援」で発表するとともにポスター展示にも参加し取組内容を公表した。

平成 23 年 2 月 28 日（月）15：20～学内 FD/SD 研修会にて GP 学内報告会を実施するとともに、平成 23 年 6 月 26 日（日）9：30～学外報告会を実施して取組を紹介した。

また、平成 24 年 2 月 27 日（月）15：30～学内 FD/SD 研修会にて GP 学内報告会を 3 年間のアンケート結果中心に実施した。

2. 当該プログラムの成果

(1) 自己評価は、どのような観点で行ったか。

学士力向上の評価観点として、学生の GPA、資格取得状況、一定数以上となることを達成目標とした。また、就職支援の評価指標として、就職率、就職マッチング率等を評価指標とし、これらが一定水準になることを目標とした。両者ともに達成度として目標値に対する割合を求めた。

(2) 到達目標に達したか。

・（図 1）GPA 値の変化において、子ども学科、人間介護福祉学科においては、前期 GPA 値より後期 GPA 値は低くなり、2 年前期 GPA 値で上昇したが、後期で最低値を示すこととなり、資格に必要な科目の修得を諦めた感がある。今後、この課題を解決するために学びの目的を十分に認識した学生生活を過ごせるように指導することが大切である。

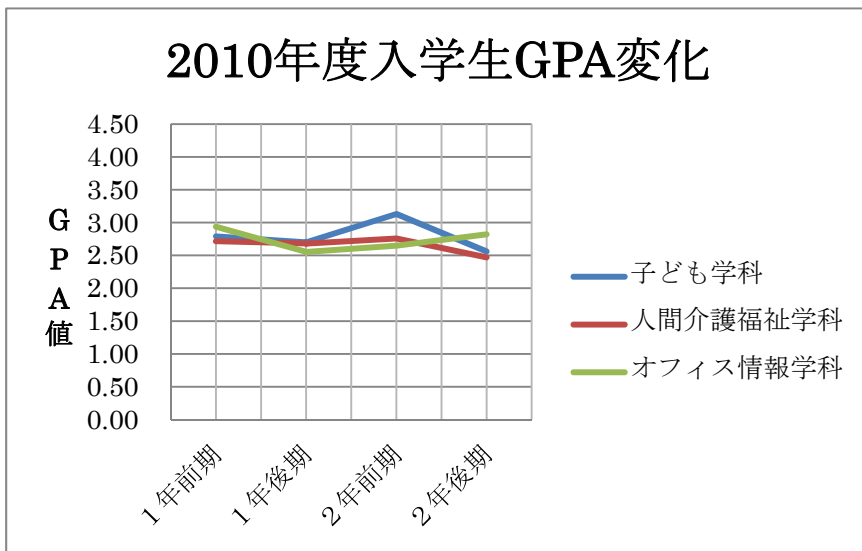


図 1 GPA 値の変化

しかし、オフィス情報学科では、就活が始まる 1 年前期より 1 年後期は GPA 値が下がったが、2 年前期、2 年後期と GPA 値が上がり、社会人として必要な学びを進めたと理解できる。

・（図 2）教育課程で取得可能な資格取得状況において、各学科の主要資格である幼稚園教諭、保育士、人間介護福祉士、ビジネス実務士、情報処理士などの取得率は年度毎に上昇し、ある程度目標は達成していると判断できる。

教育課程で取得可能な資格取得状況

子ども学科/年度	平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度		
	学生数	取得数	取得率	学生数	取得数	取得率	学生数	取得数	取得率	学生数	取得数	取得率
幼稚園教諭2種	175	169	96.57%	142	138	97.18%	154	147	95.45%	143	142	99.30%
保育士	175	168	96.00%	142	138	97.18%	154	151	98.05%	143	142	99.30%
レクリエーションインストラクター	175	17	9.71%	142	37	26.06%	154	19	12.34%	143	23	16.08%
幼児体育指導者2級	19	18	94.74%	16	15	93.75%	24	23	95.83%	—	—	—
指導厚生員2級	28	28	100.00%	20	20	100.00%	19	19	100.00%	14	14	100.00%
人間介護福祉学科/年度	平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度		
	学生数	取得数	取得率	学生数	取得数	取得率	学生数	取得数	取得率	学生数	取得数	取得率
介護福祉士	25	23	92.00%	14	14	100.00%	19	19	100.00%	29	29	100.00%
福祉レク・ワーカー	25	9	36.00%	14	10	71.43%	19	4	21.05%	29	4	13.79%
ピアヘルパー	25	17	68.00%	14	13	92.86%	19	7	36.84%	29	14	48.28%
レク・インストラクター	25	15	60.00%	14	11	78.57%	19	4	21.05%	29	16	55.17%
オフィス情報学科/年度	平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度		
	学生数	取得数	取得率	学生数	取得数	取得率	学生数	取得数	取得率	学生数	取得数	取得率
ビジネス実務士	49	41	83.67%	45	35	77.78%	61	51	83.61%	71	69	97.18%
情報処理士	49	16	32.65%	45	9	20.00%	61	30	49.18%	71	36	50.70%
上級情報処理士	49	29	59.18%	45	27	60.00%	61	23	37.70%	71	33	46.48%
2級マイカワー受験資格	49	23	46.94%	45	22	48.89%	61	47	77.05%	—	—	—
医療事務管理士受験資格	—	—	—	—	—	—	—	—	—	71	58	81.69%

図2 教育課程で取得可能な資格取得状況

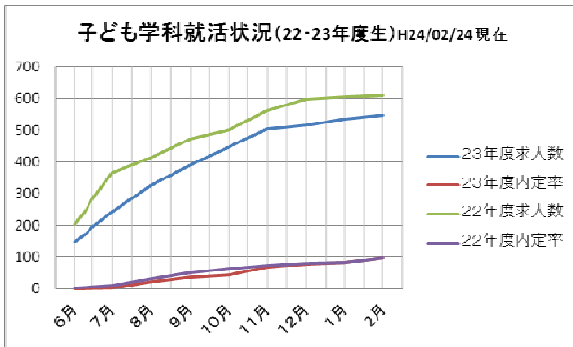


図3 子ども学科就活状況

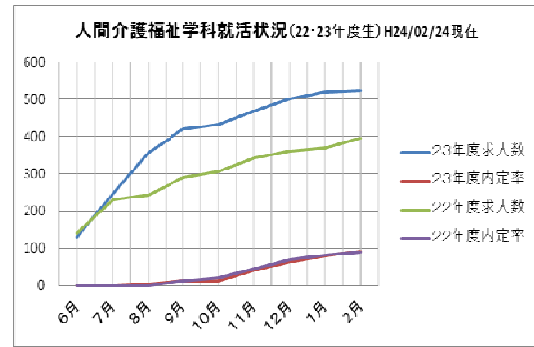


図4 人間介護福祉学科就活状況

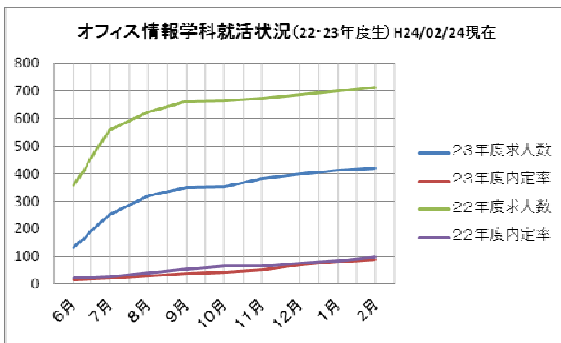


図5 オフィス情報学科

※ 注：22年度求人数は県内全大学生への求人数を含み、23年度求人数は本学生のみを表示している

・(図3)、(図4)、(図5) 就活状況において、各学科における求人数は、前年度より減少している。この減少度合いにあまり影響されず、学生の就活への努力と教職員の支援によって前年値と同様の採用内定率を維持している。

卒業生来校月別面談件数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成21年度	1	2	2	2	1	2	3	2	1	2	1	2	21
平成22年度	2	2	2	1	0	3	3	2	1	3	4	3	26
平成23年度	4	4	5	7	6	8	7	6	5	4	3	2	61

図6 キャリア支援センターによる卒業生との面談件数

- ・離職については、22年度卒オフィス情報学科生がキャリア支援センターへ年度内に退職したことを報告し、キャリア支援センターの転職支援で内定となった学生数は15名であった。また、キャリア支援センターは、生涯就職支援という立場で卒業生にも対応しているため、年度毎に相談人数は図6のように増加している。
- ・採用先による満足度調査として卒業生の能力評価調査を3年間実施したものが別紙資料1のようになった。調査年度毎に多少であるが全般にわたって評価は厳しくなっていることがわかる。多様な学生の入学が増加しつつあることなどを考慮しながら、2年間の学びで採用先に十分満足していただくために、さらに工夫していく必要がある。

(3) 具体的な成果は何か。

- ・キャリアカルテシステムにおいて、学生が、学習およびキャリアデザインのポートフォリオとして活用でき、自らのキャリアデザインを考え、職業、職場選びができる環境が整い、学生のキャリア支援に役立つようになった。また、進路先情報、求人情報、就職活動情報、学生のキャリアカルテなどの情報をもとに教職員が一貫したキャリア支援ができるように図れた。また、キャリアカルテにWebメール、出席管理システム等の学事システムとの合体で高短キャンパスネットとしての活用が増加するように図れた。(別紙資料2参照)ただし、学生および教職員の利用度の個人差が大きいことや、利用が少ない学生の学科と教員の利用の少ない学科は同様の傾向にあることが、今後の改善点である。(別紙資料3参照)
- ・卒業生(卒業後3年間)の追跡調査と就職先の採用満足度調査結果(別紙資料1参照)で、採用先が求める人物像が明確になった。今後の本学の教育活動の取組の改善に繋がっている。
- ・採用先調査依頼で本学学生への求人依頼が多少であるが増加した。(調査先から求人が数十件あった。)
- ・GPA導入とともに、出席管理や履修届けをコンピュータ利用し、日々、学生の学習状況把握や教員支援の充実を図れるようになった。
- ・学内研究成果学習会で、「就職先および学生の意識調査結果」冊子の活用で教職員のキャリア支援のあり方等の充実を図れた。
- ・学外中間報告会で、採用先からの評価をいただき採用側の求人に発展した。また、外部評価委員の意見から今後の取り組みを改善している。
- ・実地調査は、先行システム例の調査と各地区開催の独立行政法人日本学生支援機構主催「大学教育・学生支援推進事業(学生支援推進プログラム)意見交換会」に参加し、参加教職員以外にも各大学の取組を紹介することで、教職員の力量アップに繋がった。
- ・以上の取り組みを含めて、キャリア支援職員や教職員による求人開拓と学生へのキャリア支援で、本年度も昨年度同様に、ほぼ100%の内定となった。

⑤ 今後の計画

1) 当該プログラムの成果をどのように活用していくか。

- ・キャリアカルテシステムを構築したことにより、学士力の軌跡が可視化され、日常の学生支援に関しても教職員が情報を共有しフォローアップできる体制となった。また、進路先情報、求人情報、就職活動情報、学生のキャリアカルテなどの情報を一元管理できるようになり、アドバイザー教員・キャリア支援センター職員が一貫性のある総合的な就職支援を図ることが可能となった。
- ・今後これらの成果を、学士力向上の面では、教職員による教育内容・手法と学士力の変化を分析し、シラバスに反映させることで、確かな学士力向上を導く参考とし活用する。
- ・学生生活支援の面では、学生の科目ごとの出席状況をリアルタイムで把握できるようになったことを活かして、欠席過多になりがちな学生を早期に発見し対応する。学生が抱えている課題に早期対応し解消するサポートに努めることで、留年する学生や退学する学生の減少に活用する。
- ・総合的な就職支援の面では、キャリアカルテシステムが構築され稼働したので、今後は各種のデータを蓄積することで、学生・教職員にとって価値の高いシステムに向上させる。総合的な就職支援に活用し、高い就職率の維持と、満足度の高い就職支援に活用する。

2) 今後の計画

- ・当該プログラムの成果を今後も維持・拡大していくために、新入学生や新たに着任する教職員に対してキャリアカルテシステム利活用を促す場を設けるとともに、アクセス数を増やすために、システムの改善に継続して取り組む。
- ・学生や教職員が主体的に利活用したくなるよう、キャリアカルテシステムを利用した成功事例などの情報を発信し共有することで、より組織的な教育力の向上を目指す。
- ・各学科教員と職員で構成されるキャリア支援委員会において、内定率の維持・向上および再就職支援を活性化するための戦略を構築し、それぞれの学科内に理解を得て各種計画に反映するよう働きかける。
- ・平成23年に、県内を中心に保育資格を所有者としていて現在保育現場で働いていない潜在保育士に対し、再チャレンジ教育や就職支援のほか、現場で働く保育士に対するスキルアップ研修など行う『Mie保育士人材バンク』を学内に設立した。この仕組みを充実したものとすることで、生涯就職支援の実績向上を目指す。
- ・子ども学科を中心とする保育士資格所有学生のみならず、本学を卒業した既卒学生が再就職を希望した際に円滑な就職指導ができるよう、既卒者求人情報を安定的に確保する仕組みを構築するとともに、既卒学生に対しても活用を促す情報発信を行う。

⑥ 就職未内定者への支援策

① 内定(内々定)のピークを過ぎても内定(内々定)を得られない者への支援策

- ・本学においては、就職困難といわれる昨今においても、全学科高い就職率を維持し続けている。しかし、内定(内々定)のピークまでに内定(内々定)を得る学生比率は従来決して高い訳ではなく、卒業間際まで内定(内々定)を得られない学生にアドバイザー教員とキャリア支援センター職員が中心に未内定学生と向き合い、内定(内々定)を獲得してきている。今後も、学生一人ひとりのカルテをはじめ、当プログラムで得た成果を十分に活用しながら、Face to Faceの指導を大切に支援し続ける。
- ・在学者数が多くはないメリットを活かし、未内定学生一人ひとりにあった望ましいと思われる事業所・園・施設などを戸別訪問し、求人開拓を実施していく。
- ・受験を繰り返しても内定(内々定)を得られない学生に対しては、「なぜ内定(内々定)を得られなかったのか」について学生と教職員が考える機会を持ち、次に活かせる指導に取り組む。
- ・内定(内々定)のピークまでに内定(内々定)を得られない学生の多くは、異年代とのコミュニケーションが苦手であること、就職活動をし始める時期が遅いこと、キャリア支援センターへの来室回数が少ない(ない)こと、など共通した傾向がある。これらを解消するためには、入学時からアドバイザー担当を中心に多くの教職員が学生と関わり頻繁にコミュニケーションをとり、1年生時に開催しているプレ・就職講座の場などで就職活動に積極的に取り組めて「一歩前に出る」大切さを繰り返し伝えていく、など意識的に取り組んでいく必要がある。

② 未内定のまま卒業した者への支援策

- ・キャリアカルテを用いた生涯就職支援システムの構築に関する学外中間報告会の場に、人材派遣会社スタッフも参加され、本プログラムの趣旨に賛同いただいたこともあり、今後は、未内定のまま卒業した学生および離職後再就職を希望する学生とキャリア支援センター、そして人材派遣会社が連携する体制をとり、支援体制を強化していく。
- ・三重県やハローワークとの情報交換を密にし、職を求めている学生と求人先とのマッチングに活かすように進めていく。

別紙資料 1

本学卒業生に対する満足度と卒業生の自己評価の対比

	採用先満足度	卒業生自己評価																																																								
意欲	<p>意欲（採用側）</p> <p>— 平成23年度 — 平成22年度 — 平成21年度</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>平成23年度</th><th>平成22年度</th><th>平成21年度</th></tr> <tr><td>主体性</td><td>68.2</td><td>52.9</td><td>51.8</td></tr> <tr><td>責任感</td><td>75.0</td><td>61.0</td><td>75.5</td></tr> <tr><td>規律性</td><td>68.9</td><td>59.7</td><td>71.4</td></tr> <tr><td>目標設定</td><td>58.3</td><td>45.9</td><td>50.4</td></tr> </table>	項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度	主体性	68.2	52.9	51.8	責任感	75.0	61.0	75.5	規律性	68.9	59.7	71.4	目標設定	58.3	45.9	50.4	<p>意欲（卒業生）</p> <p>— 平成23年度 — 平成22年度 — 平成21年度</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>平成23年度</th><th>平成22年度</th><th>平成21年度</th></tr> <tr><td>主体性</td><td>74.4</td><td>68.0</td><td>61.7</td></tr> <tr><td>責任感</td><td>82.4</td><td>81.6</td><td>76.7</td></tr> <tr><td>規律性</td><td>79.7</td><td>76.7</td><td>81.2</td></tr> <tr><td>目標設定</td><td>63.6</td><td>52.4</td><td>52.6</td></tr> </table>	項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度	主体性	74.4	68.0	61.7	責任感	82.4	81.6	76.7	規律性	79.7	76.7	81.2	目標設定	63.6	52.4	52.6																
項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度																																																							
主体性	68.2	52.9	51.8																																																							
責任感	75.0	61.0	75.5																																																							
規律性	68.9	59.7	71.4																																																							
目標設定	58.3	45.9	50.4																																																							
項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度																																																							
主体性	74.4	68.0	61.7																																																							
責任感	82.4	81.6	76.7																																																							
規律性	79.7	76.7	81.2																																																							
目標設定	63.6	52.4	52.6																																																							
考える力	<p>考える力（採用側）</p> <p>— 平成23年度 — 平成22年度 — 平成21年度</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>平成23年度</th><th>平成22年度</th><th>平成21年度</th></tr> <tr><td>課題発見力</td><td>27.3</td><td>35.2</td><td>34.1</td></tr> <tr><td>創造力</td><td>26.6</td><td>34.6</td><td>34.8</td></tr> <tr><td>計画力</td><td>40.6</td><td>42.8</td><td>51.6</td></tr> </table>	項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度	課題発見力	27.3	35.2	34.1	創造力	26.6	34.6	34.8	計画力	40.6	42.8	51.6	<p>考える力（卒業生）</p> <p>— 平成23年度 — 平成22年度 — 平成21年度</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>平成23年度</th><th>平成22年度</th><th>平成21年度</th></tr> <tr><td>課題発見力</td><td>45.9</td><td>45.6</td><td>45.1</td></tr> <tr><td>創造力</td><td>37.9</td><td>37.9</td><td>40.6</td></tr> <tr><td>計画力</td><td>51.3</td><td>39.8</td><td>49.6</td></tr> </table>	項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度	課題発見力	45.9	45.6	45.1	創造力	37.9	37.9	40.6	計画力	51.3	39.8	49.6																								
項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度																																																							
課題発見力	27.3	35.2	34.1																																																							
創造力	26.6	34.6	34.8																																																							
計画力	40.6	42.8	51.6																																																							
項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度																																																							
課題発見力	45.9	45.6	45.1																																																							
創造力	37.9	37.9	40.6																																																							
計画力	51.3	39.8	49.6																																																							
コミュニケーション力	<p>コミュニケーション力（採用側）</p> <p>— 平成23年度 — 平成22年度 — 平成21年度</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>平成23年度</th><th>平成22年度</th><th>平成21年度</th></tr> <tr><td>発信力</td><td>42.0</td><td>42.8</td><td>54.5</td></tr> <tr><td>傾聴力</td><td>62.3</td><td>54.7</td><td>65.9</td></tr> <tr><td>柔軟性</td><td>65.8</td><td>59.8</td><td>66.7</td></tr> <tr><td>協調性</td><td>68.6</td><td>61.0</td><td>71.2</td></tr> <tr><td>情報伝達</td><td>34.3</td><td>36.5</td><td>45.5</td></tr> <tr><td>組織・人間関係</td><td>46.2</td><td>48.4</td><td>53.1</td></tr> </table>	項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度	発信力	42.0	42.8	54.5	傾聴力	62.3	54.7	65.9	柔軟性	65.8	59.8	66.7	協調性	68.6	61.0	71.2	情報伝達	34.3	36.5	45.5	組織・人間関係	46.2	48.4	53.1	<p>コミュニケーション力（卒業生）</p> <p>— 平成23年度 — 平成22年度 — 平成21年度</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>平成23年度</th><th>平成22年度</th><th>平成21年度</th></tr> <tr><td>発信力</td><td>64.0</td><td>44.6</td><td>36.9</td></tr> <tr><td>傾聴力</td><td>67.0</td><td>86.5</td><td>80.5</td></tr> <tr><td>柔軟性</td><td>67.6</td><td>87.8</td><td>50.4</td></tr> <tr><td>協調性</td><td>52.6</td><td>82.4</td><td>69.0</td></tr> <tr><td>情報伝達</td><td>39.9</td><td>48.7</td><td>50.0</td></tr> <tr><td>組織・人間関係</td><td>53.4</td><td>50.0</td><td>76.7</td></tr> </table>	項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度	発信力	64.0	44.6	36.9	傾聴力	67.0	86.5	80.5	柔軟性	67.6	87.8	50.4	協調性	52.6	82.4	69.0	情報伝達	39.9	48.7	50.0	組織・人間関係	53.4	50.0	76.7
項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度																																																							
発信力	42.0	42.8	54.5																																																							
傾聴力	62.3	54.7	65.9																																																							
柔軟性	65.8	59.8	66.7																																																							
協調性	68.6	61.0	71.2																																																							
情報伝達	34.3	36.5	45.5																																																							
組織・人間関係	46.2	48.4	53.1																																																							
項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度																																																							
発信力	64.0	44.6	36.9																																																							
傾聴力	67.0	86.5	80.5																																																							
柔軟性	67.6	87.8	50.4																																																							
協調性	52.6	82.4	69.0																																																							
情報伝達	39.9	48.7	50.0																																																							
組織・人間関係	53.4	50.0	76.7																																																							
職業人意識	<p>職業人意識（採用側）</p> <p>— 平成23年度 — 平成22年度 — 平成21年度</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>平成23年度</th><th>平成22年度</th><th>平成21年度</th></tr> <tr><td>職業観</td><td>52.5</td><td>41.5</td><td>50.7</td></tr> <tr><td>向上心</td><td>56.9</td><td>49.1</td><td>59.4</td></tr> <tr><td>実践力</td><td>28.0</td><td>27.0</td><td>37.9</td></tr> <tr><td>専門的な能力</td><td>46.9</td><td>39.7</td><td>35.0</td></tr> </table>	項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度	職業観	52.5	41.5	50.7	向上心	56.9	49.1	59.4	実践力	28.0	27.0	37.9	専門的な能力	46.9	39.7	35.0	<p>職業人意識（卒業生）</p> <p>— 平成23年度 — 平成22年度 — 平成21年度</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>平成23年度</th><th>平成22年度</th><th>平成21年度</th></tr> <tr><td>職業観</td><td>68.9</td><td>57.3</td><td>62.4</td></tr> <tr><td>向上心</td><td>64.0</td><td>56.3</td><td>72.9</td></tr> <tr><td>実践力</td><td>28.4</td><td>18.5</td><td>24.9</td></tr> <tr><td>専門的な能力</td><td>39.1</td><td>31.1</td><td>40.6</td></tr> </table>	項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度	職業観	68.9	57.3	62.4	向上心	64.0	56.3	72.9	実践力	28.4	18.5	24.9	専門的な能力	39.1	31.1	40.6																
項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度																																																							
職業観	52.5	41.5	50.7																																																							
向上心	56.9	49.1	59.4																																																							
実践力	28.0	27.0	37.9																																																							
専門的な能力	46.9	39.7	35.0																																																							
項目	平成23年度	平成22年度	平成21年度																																																							
職業観	68.9	57.3	62.4																																																							
向上心	64.0	56.3	72.9																																																							
実践力	28.4	18.5	24.9																																																							
専門的な能力	39.1	31.1	40.6																																																							

資料2

平成21・22年度 大学教育・学生支援推進事業 【テーマB】学生支援推進プログラム

キャリアカルテを用いた 生涯就職支援システムの構築

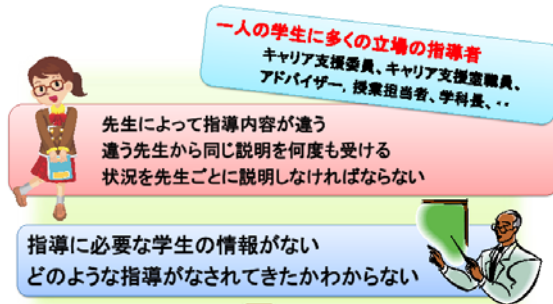
やわらか心の **高田短期大学**

生涯を通じた学生のキャリア支援を目指し システム構築と調査をもとに全学的な指導體制の構築をすすめている

取組の申請概要

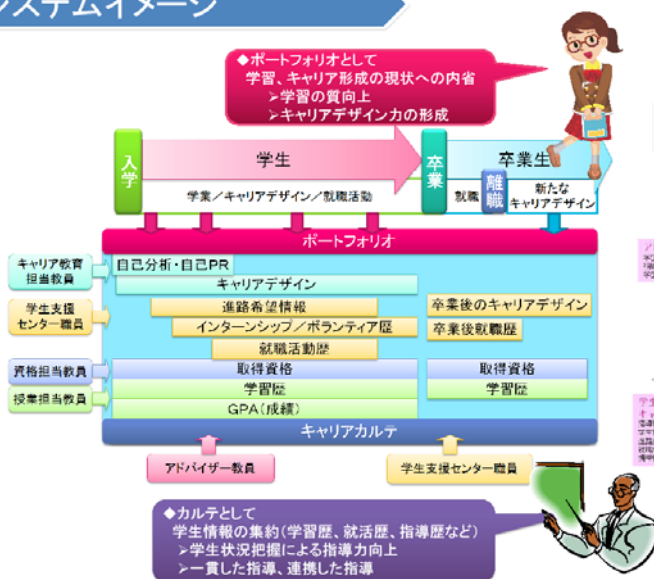
学科の専門分野を修め、短期大学士にふさわしい学士力ある学生を育てるほか、学生のニーズにマッチした職場選びと就職を実現する就職支援システムの開発と運用体制を構築する。学生の学びに対する達成感と学習意欲を高め、学習の参加度を強化するために、学習ポートフォリオ、GPA制度を導入して学生の学習状況を把握する。また、本事業によりキャリア支援のログを学生一人ひとり一元管理ができる「**キャリアカルテシステム**」を開発する。キャリアカルテには、各学生の学習状況や資格取得、インターンシップ歴、希望業種や職種、進路指導歴などの記録をデータ管理することで、アドバイザー・教員及び学生支援センターが一貫した就職支援を実現する。また、就職活動で得られた企業情報や試験情報などのデータは、学生らが供覧できるシステムとする。さらに、卒業時だけでなく卒業後も本システムを活用し、生涯を通じた満足度の高い就職支援ができるようにする。

構想の始まり



情報の共有・指導の一貫性・組織力の向上

システムイメージ



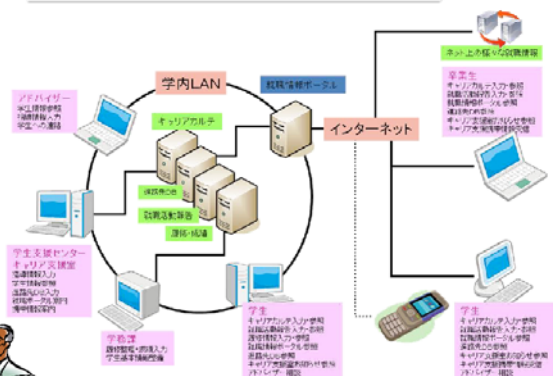
取組みのねらい

- 学生力の向上
 - ▷ 学士力ある学生の育成
 - ▷ 学生のキャリア形成力の育成
- 就職力の向上
 - ▷ 高い就職内定率の維持
 - ▷ 学生の就職のミスマッチの排除
 - ▷ 生涯キャリア支援システム、支援体制の構築
- 組織力の向上
 - ▷ 本学の学生指導體制の構築
 - ▷ 本学教職員の指導力の向上

取組みの内容

- キャリアカルテシステムの開発
 - ▷ キャリアカルテによる一貫した指導體制の構築
 - ▷ ポートフォリオとしての学生の活用
 - ▷ 卒業生も含めたキャリア支援体制の構築
- 就職力・学士力向上を目指した調査
 - ▷ 卒業生満足度・自己評価、就職先での能力評価、進路先の求める人材像等の調査
 - ▷ カリキュラム・キャリア支援の在り方検討
- GPA制度・出欠管理システムの導入
 - ▷ 同制度・システムによる学生の早期ケア

ネットワークイメージ



生涯キャリアカルテを支える機能

- 就職情報ポータル
 - 就職活動のための情報入手の入り口
- キャリアカルテ
 - 学生基本情報、学習歴(成績・履修・資格等)、キャリアデザイン(自己分析・実習活動記録等)、就活履歴・指導コメント等の学生カルテ情報
- 進路先データベース
 - 企業、業、施設等の情報を閲覧できるデータベース
- 求人情報
 - 本学に送られてきた求人情報の掲載
- キャリア支援等の情報配信(学生ページ・携帯等へ)
 - キャリア支援室や教員等からの学生への連絡通知
- 就職活動報告
 - 先輩の就職活動報告の閲覧
- Webメールシステム
 - 自宅からでも画面に利用できるメールシステム

キャリアカルテ運用に期待する効果

- 学生の学習の質の向上
 - 学生の学習歴やキャリア学習の内幕の提供
 - 自立した学びの姿勢や活動態度につながる
 - キャリア形成力の向上
 - 教員への信頼感、教員とのつながり感
- 教育の質の向上
 - 指導環境の向上(情報の一元化と共有)
 - 学生とのつながり感
 - アドバイザーとしての学生と向き合う意識の向上
- 本学のキャリア支援力の向上
 - 情報の可視化
 - 教職員間の連携(個人指導の限界を打ち破る)
 - 学科のキャリア教育との連携

キャリアカルテ運用の現状と課題

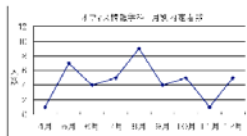
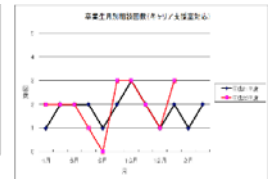
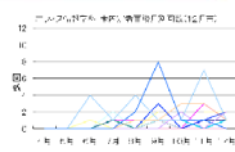
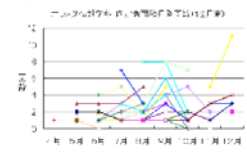
- 学生の利用状況
 - キャリアガイダンス・社会体験学習等キャリア支援科目や就職講座での積極的な活用・学生への利用奨励
 - 求人検索、就職活動・志望動機・自己PR等、就活報告で活用
 - 就職面接前の利用増
 - 昨年同月(12月)内定者数増
- 教員の利用状況と課題
 - 学生面談記録、学生状況の把握に活用
 - 実行委員・キャリア支援関係教職員の活用
 - 一般教員の利用率低(FD、マニュアル、機能追加・改善)
- システムの運用の課題
 - システム管理運営体制
 - 卒業生への広報、対応体制
 - 学生の学習活動、就職活動との連携体制
 - 効果的なポートフォリオへ、履修カルテとの連携

キャリア支援の状況



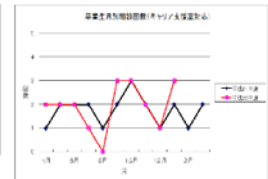
キャリア支援室の様子
 学生は、進路相談や情報入手のためにキャリア支援室を訪れます。面談を待っている間に、キャリアカルテに志望動機や自己PRを書き込んだり、システムを利用して、企業情報や先輩の受験報告を読んだりしています。

面談記録数と内定者数 オフィス情報学科の場合

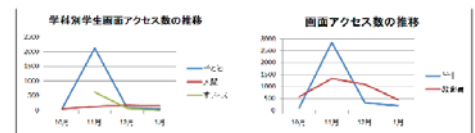


・面談回数が多い月に内定が決まっている
 ・面談を早く中心している学生は内定につながりやすい

卒業生支援 相談件数



学生、教職員の利用状況 H22/10/20~1/17



就職力・学士力向上を目指した調査

生涯就職を支援する考えの一つとして、「**生涯にわたり就職先から求め続けられる人材**」を大学は育成し、社会に送り出す必要がある

大学教育に求められている地域のニーズを把握するために、意識アンケート調査を実施

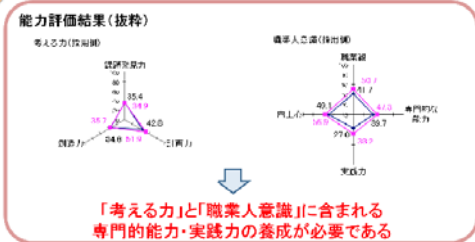
意識調査の主な目的

- 就職先が学生に求めている資質・スキルなどを把握すること
- 教育現場が社会や学生のニーズにこたえる人材育成に着手することで、ミスマッチな就職を避け、早期離職の低減を図り、学生の長期キャリアを実現すること
- 卒業生の現状を把握するとともに、キャリア支援に関して本学に求めていることを把握すること

例えばこんな結果が・・・

- 後継・後継者の採用等に關するアンケート
- 分業協働社員の採用等に關するアンケート
- 新卒社員層・女性の専業主婦等に關するアンケート
- 卒業生向けキャリアに關するアンケート
- 就職先および卒業生向け「能力評価アンケート」

【能力評価】採用先・卒業生(全学科)



「考える力」と「職業人意識」に含まれる専門的能力・実践力の養成が必要である

まとめ

地域が大学に求めている教育とは

調査結果をうけた今後の展開事例

- 誠実さや思いやりの心を持つ人を育成するために、ヒューマンスキルを大切に育成する
- 日常生活の指導機会を大切に
- 「課題発見力」や「創造力」など「考える力」をつける教育手法を導入する
- 「専門的な能力」を習得するだけでなく、職場で活用できる「実践力」の育成も視野に入れた教育を実施する
- 採用先、職種別に求めるニーズが異なることを意識し、ニーズにあったカリキュラムを編成する
- 地域との連携を強化する

効果と今後

学生が変わる ↔ 教職員が変わる

- 自己チェック
 ・自己分析(資質)
 ・履修カルテ
 ・ポートフォリオ

- 学生一人ひとりと向き合う
 (面談記録)
 ・教職員1人で学生1人
 (キャリア支援を完結できない)

学生の自立

組織力の向上

- 入学前教育構築 一情報力、実践力、人間力等アップの準備
大学が変わる。学生・家庭が変わる。地域も変わる。

学生アクセス数ランキング(23. 1～24. 2月末)								
順位	11月末		12月末		1月末		2月末	
	個人番号	画面IDカウ ント	個人番号	画面IDカウ ント	個人番号	画面IDカウ ント	個人番号	画面IDカウ ント
1	B10055	615	B10055	615	B10055	621	B10055	640
2	B10043	385	B10043	395	A11076	434	A11076	456
3	A10091	376	A10091	376	B10043	404	B10043	420
4	B11003	341	B11003	347	A10091	383	A10091	383
5	A11076	301	A11076	321	B11003	360	B11003	376
6	B10060	299	B10017	311	B10017	326	B10017	364
7	B10017	295	B11011	301	B11011	309	B11039	326
8	B10015	295	B10060	299	B10015	303	B11011	319
9	B11039	273	B10015	297	B10060	299	B10015	317
10	B11011	268	B11039	284	B11039	289	B10051	315

学生アクセス数ランキング10位

子ども学科学生アクセス画面利用状況															
画面名称	合計	201101	201102	201103	201104	201105	201106	201107	201108	201109	201110	201111	201112	201201	201202
履修登録	406			168	41	19	17	30	29	28	20	5	10	23	16
求人情報	1067	5	293	81	108	126	67	134	68	41	54	32	29	15	14
基本情報	976	4	554	208	25	40	26	17	15	15	9	18	18	18	9
進路希望	1476	1	387	53	114	91	82	156	139	96	102	79	56	54	66
自己PR	78	1	19	2	9	7	3	9	6	2	6	3	5	2	4
自己分析	144	1	63	8	16	12	8	11	6	3	5	5	1	2	3
行動特性分析	70	2	30	1	5	5	5	2	2	3	4	5	1	2	3
学歴	320	4	158	37	18	30	12	11	7	6	9	12	10	2	4
職業歴	59	4	27	4	4	5	1	3	3	1	4	1	2		
資格取得	106	3	47	8	6	3	8	6	5	7	6	3	3		1
体験活動暦	68	2	21	3	8	6	3	3	4	4	7	4	2		1
就職講座受講	84	3	29	5	7	8	6	3	10	5	4	3		1	
就職活動	309	1	135	31	23	20	10	20	15	16	11	10	10	4	3
履歴書指導	151	3	90	3	6	10	10	8	6	5	4	3	2	1	
受験届け	618	4	215	22	5	5	10	55	90	53	53	28	19	9	50
受験報告	410		48	2	2	2	5	45	76	53	68	41	14	7	47
結果報告	261		39	1	2	1	3	16	53	37	32	18	16	7	36
進路決定	185		17		1	1	1	12	46	30	16	14	13	6	28
受験報告検索	627	2	124	22	40	58	31	69	71	50	66	30	21	13	30
企業情報	546	4	101	22	72	96	27	72	36	24	31	14	27	2	18
GPAコメント	375	3	101	17	31	14	32	39	29	19	16	10	17	11	36
成績	416				58	17	41	48	71	38	20	8	25	20	70
履修カルテ	23					2		5	2	6	3	2	1	1	1
取得単位表	267				31	19	29	29	38	22	27	5	18	22	27
履修計画	253				52	27	8	19	38	25	28	7	8	16	25
画面名称	合計	201101	201102	201103	201104	201105	201106	201107	201108	201109	201110	201111	201112	201201	201202
履修登録	1058			177	387	21	23	19	121	143	60	12	17	46	32
求人情報	591			4	241	4	14	18	38	16	40	25	18	140	33
基本情報	783			82	400	8	22	11	8	24	18	16	12	170	12
進路希望	1692			7	862	16	52	23	44	76	55	35	27	456	39
自己PR	193				60	4	5	2	2	7	6	3	3	93	8
自己分析	253			1	80	4	2	1	3	7	9	2	7	131	6
行動特性分析	305				213	1		1	2	4	4	3	6	70	1
学歴	677			2	363		9	1	5	20	10	7	2	254	4
職業歴	131				55					4	4			67	1
資格取得	372				232		1		3	3	6	3	2	119	3
体験活動暦	251				128			1	11	16	6	6		83	
就職講座受講	113				41		3			1	3	3		62	
就職活動	281			1	100		10	1	6	7	4	3	1	147	1
履歴書指導	286				42		1		1	1	2	4	1	234	
受験届け	315			1	101		3	1	1	6	2	4	1	195	
受験報告	138				50		1			1				86	
結果報告	110				33				2	3	1	1		70	
進路決定	107				39					1	3	1		63	
受験報告検索	376				188	4	4	10	27	10	25	15	16	58	19
企業情報	458				199	3	16	14	27	8	45	18	14	82	32
GPAコメント	818			1	227	20	22	24	111	123	98	22	32	67	71
成績	1424				198	23	22	34	442	179	100	39	34	97	256
履修カルテ	53					7		10	16	13	1	1		4	1
取得単位表	822				172	24	34	44	208	121	59	14	20	66	60
履修計画	917				334	36	48	38	141	120	64	19	15	58	44

子ども学科2・1学年別画面別アクセス数

		人間介護福祉学科学生アクセス画面利用状況														
	画面名称	合計	201101	201102	201103	201104	201105	201106	201107	201108	201109	201110	201111	201112	201201	201202
2年	履修登録	101			59		1	5	8	2	6	19				1
	求人情報	102	1		23	2	1	6	32	1	22	3	7	4		
	基本情報	94	1		73			1	11		2	2	2	1		1
	進路希望	127			26			2	64	2	5	7	7	9	1	4
	自己PR	37			5				30				1			1
	自己分析	35			10				22			1	1			1
	行動特性分析	13			5				7				1			
	学歴	43			12			1	23		2	3	1	1		
	職業歴	11			1				6			1	2	1		
	資格取得	12			4				2	6						
	体験活動歴	31			1				1	27			2			
	就職講座受講	13			3				9			1				
	就職活動	43			9				7	20		1	2	2		
	履歴書指導	38			2					33			3			
	受験届け	55			8					13	2	4	8	8	1	3
	受験報告	39								9	2	4	8	5	7	1
	結果報告	21								4	2	1	2	2	7	1
	進路決定	14								3	1	1	2	1	3	1
	受験報告検索	56			10	1			4	8		12	4	8	7	1
	企業情報	61			7	2			6	19		16	5	2	3	1
GPAコメント	56			9	1	3	11	16	3	3	5	1	3		1	
成績	72			2	1	4	5	21	7	5	10		9	1	7	
履修カルテ	4										2			1	1	
取得単位表	44						4	4	15	1	5	11	2	2		
履修計画	37						3	4	10	2	4	13			1	
1年	履修登録	158			32	63	13	1	8	5	4	14	2	6	3	7
	求人情報	20			1	8	3	1			1			6		
	基本情報	138			22	77	8	5	4			3		18	1	
	進路希望	309				118	25	6	7	1	1	4	2	142	2	1
	自己PR	105				27	3						2	73		
	自己分析	165				64	6					2	1	92		
	行動特性分析	97				49	4						1	43		
	学歴	102				74	10	1					1	16		
	職業歴	28				15	2	1					1	9		
	資格取得	48				29	1	1					1	16		
	体験活動歴	26				12	2	1					1	10		
	就職講座受講	13				3							1	9		
	就職活動	34				11		1					7	13		
	履歴書指導	11				6		1						4		
	受験届け	7				3								4		
	受験報告	3				2								1		
	結果報告	3				1	1							1		
	進路決定	3				1								2		
	受験報告検索	8				2	2				1			3		
	企業情報	28				8	2				2	5		10		
GPAコメント	198				153	11	1	2	4	10	3	2	10	2		
成績	164				46	27	4	7	18	11	5	4	13	4		
履修カルテ	8							3		3			1	1		
取得単位表	115				50	8		6	13	4	4	2	9	4		
履修計画	137				78	10	1	8	4	3	9	4	12	3		

人間介護福祉学科 2・1 学年別画面別アクセス数

		オフィス情報学科・オフィス人材育成学科学生アクセス画面利用状況														
	画面名称	合計	201101	201102	201103	201104	201105	201106	201107	201108	201109	201110	201111	201112	201201	201202
2年	履修登録	562			5	119	20	30	37	44	77	132	18	31	9	40
	求人情報	501	19	76	35	107	47	40	40	41	34	26	5	9	10	12
	基本情報	744	30	340	133	136	14	8	13	6	14	11	6	16	10	7
	進路希望	1445	11	170	20	369	165	125	103	84	111	66	64	53	42	62
	自己PR	240	8	137	13	17	13	6	2	9	10	3	16	3	2	1
	自己分析	218	8	134	13	13	10	6	2	5	15	4	6	2		
	行動特性分析	93	3	41	3	18	5	4	1	2	6	2	6	2		
	学歴	259	18	106	14	29	11	7	14	11	15	11	3	8	6	6
	職業歴	43	3	19	2	6	3	3		1	3		2			1
	資格取得	215	11	62	12	29	11	8	15	13	24	4	12	3	5	6
	体験活動歴	68	2	26	2	16	4	4	1	3	2	1	6			1
	就職講座受講	86	2	27	4	17	8	2	4	3	7	3	3	1	3	2
	就職活動	265	10	113	27	26	13	13	8	7	11	11	11	4	7	4
	履歴書指導	579	8	252	30	35	42	25	15	11	31	24	42	21	9	34
	受験届け	501	2	26	35	128	62	47	44	34	27	17	20	16	11	32
	受験報告	558		6	21	150	96	90	48	36	40	19	11	9	6	26
	結果報告	281		2	11	42	29	36	69	25	20	14	8	5	5	15
	進路決定	100		1	2	2	8	8	27	6	10	8	5	2	6	15
	受験報告検索	523	4	25	24	161	73	57	28	55	43	17	2	10	3	21
	企業情報	190	3	17	4	64	12	11	10	17	7	9		5	15	16
GPAコメント	453	7	32	57	63	12	10	17	70	22	34	4	19	8	98	
成績	704				58	20	18	35	116	61	79	14	30	14	259	
履修カルテ	39					9	1	14	2	12	1					
取得単位表	701				129	20	20	42	62	69	106	33	33	13	174	
履修計画	502				133	22	27	49	39	58	82	16	24	8	44	
1年	画面名称	合計	201101	201102	201103	201104	201105	201106	201107	201108	201109	201110	201111	201112	201201	201202
	履修登録	940			74	348	30	17	23	60	75	242	25	4	12	30
	求人情報	472				226	14	5	21	9	14	58	33	51	22	19
	基本情報	523			35	174	14	7	10	3	12	117	97	9	23	22
	進路希望	1556				358	37	23	68	33	174	441	151	40	63	168
	自己PR	245				75	1	1	2	1	2	82	25	5	4	47
	自己分析	407				86	2	3	4		8	142	26	6	9	121
	行動特性分析	199				82	3	5	2	2	3	63	11	2	14	12
	学歴	299			1	119	6	2	7	5	23	85	23	5	8	15
	職業歴	110			1	66	2	1			6	23	6	1	2	2
	資格取得	564				183	10	3	41	29	93	112	30	14	22	27
	体験活動歴	303				146	3	2	1	3	58	79	5	1	2	3
	就職講座受講	129				68		3	1	1	2	35	6	11	2	1
	就職活動	208				110		4	2	3	4	58	5	7	10	5
	履歴書指導	327				71	1	3	1	1		185	5	3	2	55
	受験届け	117				77		6	3		5	18	3	1	2	2
	受験報告	97				79		1				16	1			
	結果報告	42				19		1	1	1		17	2			1
	進路決定	81				68		1	1			11				
	受験報告検索	414			1	215	11	2	21	3	31	71	24	19	6	10
企業情報	389			1	265	5	3	7	4	20	30	25	13	11	5	
GPAコメント	494			1	41	19	4	32	42	131	139	25	6	8	46	
成績	847				31	51	17	79	174	113	201	16	5	20	140	
履修カルテ	48					4	1	4	11	4	10	9		3	2	
取得単位表	608				48	42	9	36	92	64	190	28	3	9	87	
履修計画	706				80	45	26	71	74	100	197	37	4	18	54	

オフィス情報学科2学年・オフィス人材育成学科1学年別画面別アクセス数